

ジェネリック医薬品への変更から見えてきたもの

ミキ薬局埼玉行田店

○七海亜貴子、内田恵、秋山昌代、加部愛子、中島正登

【目的】

平成 20 年に「保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則」が改正され、ジェネリック医薬品の調剤に必要な体制確保や患者様に対する説明義務などが初めて規定された。それに伴い調剤報酬においても、「後発医薬品の調剤体制加算」が新設され、また処方せん様式が変更されるなど、ジェネリック医薬品への変更（以下、GE 変更）が加速的に進むこととなった。また、テレビ等のマスメディアでもジェネリックメーカーの CM が数多く流れるようになり、国民の意識の中にジェネリック医薬品はかなり浸透してきたと感じている。

当店舗においても、病院と連携をとりながら GE 変更を積極的に行った。今回はこの 4 年間の取り組みを振り返ると同時に、その中で蓄積した多くのデータを分析する事で、今後のさらなる発展へ繋げたいと考えた。

【方法】

4 年間の取り組みと、GE 変更等の関係性を評価した。また GE 変更を病院へフィードバックする際に使用している後発医薬品変更調剤連絡票(平成 20 年 4 月 1 日～平成 24 年 8 月 18 日分)から必要データを抽出・分析した。そして、ジェネリック医薬品に変更された経験のある患者様に意識調査を行った。(平成 24 年 9 月 12 日～10 月 6 日)

【結果】

H22. 4 月 後発医薬品調剤体制加算 3 (30%以上) 達成

H24. 4 月 後発医薬品調剤体制加算 3 (35%以上) 達成

データ解析の結果は以下のとおり

- ・総変更件数：1447 件
- ・GE 変更した患者の男女比・・・男：女＝2：1（行田店患者の男女割合とほぼ同じ）
- ・GE 変更した患者の年代・・・60 代 29% 50 代 23% 40 代 15%…（5～60 代が全体の半数）
- ・GE 変更件数 TOP 3 ザンタック、アプレース、マーズレン S

意識調査の結果、薬局スタッフに勧められ納得して変更された方がほとんどで、特に不安もなかったという事が分かった。

【考察】

スムーズに GE 変更ができた要因として、まず病院との連携がきちんと取れていた事、そして処方医が GE に対して前向きであった事が考えられる。また意識調査の結果から、GE 服用中の患者様のほとんどが私達薬剤師に身を委ねており、これは日々の取り組みの中で、少しずつ信頼関係を築き上げてきた成果の一つであると言えるだろう。今後も地域密着型の薬局として、病院と患者様との間の橋渡しを積極的に行い、さらに GE 変更を通じて、増加が懸念されている国民医療費の軽減にも貢献していきたい。